

平成25年

立入禁止のロープを越えて平然と入山してきた男性一名。

従事者が入山禁止を告げ、立入禁止の看板とロープが有ったことも告げたが、悪びれる様子もなく、首を傾げてなぜ自分が注意を受けているか理解できない様子。

詫びるわけでもなく、謝罪の言葉一つなく「駄目なんですか?」「駄目なんですか?」とふてくされて反論をする。

結局、少しでも長く居座ろうと周囲を観察始めるなど、なかなか立ち去りませんでした。

もとより、入山禁止の看板とロープが有り、それを越えてまで侵入してきたことに対して今更駄目も何もありません。

この機会に何度も言いますが以前、行楽客を迎えていた時期にでも、無断で堂内に立ち入る者、従事者の生活圏内まで入り込んでくる者、立ち入り禁止区域に入りこむ者が絶えず、何度注意をしても何故駄目なのか、何故注意をされなければならないのか、酷い者では出鱈目な権利を主張する者が多くなってきて、対応できなくなる状況が続いたので仏事のご用以外の者を立入禁止にしたわけです。

看板は日本語で書いています。

一畳ほどの大きな看板です。

ロープも張っており、そのロープにも、観光不可の看板をぶら下げています。それを乗り越えてまで進入するということは、一般常識では考えられません。

彼者にも言いましたが、此のようなことをするから入山禁止にしたのであって他でも、このような者による迷惑行為が多発するために入山禁止になった寺院もあります。

見物をしたい気持わかりますが、ルールを守らないで参拝も何もありません。

たとえ、参拝であっても違法な行いや他人に迷惑をかけてまでの無法な行いをしてまでまさる信仰心は、信仰とは言いません。

また、この先日にも看板を無視して入ってきた者がいましたが、謝罪の言葉を述べて以後、気をつけると反省の念が有ったため、ここでは詳細は記しません。

大蔵寺だけではなく他の観光地でも同様に、その場所のルールを守ってください。